

第32回地方公務員共済資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和3年11月22日（水） 10:00～10:55
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員（※） ・喜多委員 ・佐藤委員 ・芹田委員（※）
 - ・高山委員 ・竹原委員（※） ・徳島委員 ・長澤委員（※） ・森本委員（※はオンライン会議システムを利用した出席）
4. 議 事
 - （1）FTSE世界国債インデックスにおける中国国債組入れに関する対応について
 - （2）厚生年金保険事業の管理積立金に関する管理運用の方針の変更について
 - （3）経過的長期給付調整積立金に関する管理運用の方針の変更について
 - （4）令和3年度第2四半期の各積立金の運用状況（地共済）
 - （5）令和3年度第1四半期の各積立金のリスク管理の状況（地共済）

〈議事の概要〉

- （1）FTSE世界国債インデックスにおける中国国債組入れに関する対応について
 - ・事務局から下記のとおり説明があった。
 - 地共済全体の投資規模を考慮の上、市場流動性が確保されているかについて慎重に見極める必要があること、外国債券については基本ポートフォリオ策定時において、中国国債の組入れを想定していなかったため、FTSE世界国債インデックス（除く日本）への中国国債組入れによる資産間の相関の変化や中国国債市場の動向等を踏まえ検討する必要があることから、中国国債の組入れを当面見送ることとし、政策ベンチマークについては、FTSE世界国債インデックス（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）に変更する方針としたい。
 - ・その後、意見交換が行われた。
 - 事務局案に賛成である。政策ベンチマークを変更することについても、対外的な説明の観点から望ましいと思うが、今後も指数の大きな変更がある度に、管理運用の方針等の変更について検討するというの

は手続き面での負担が大きいのではないか。今後、指数の変更についてどのように対応していくのか。また、今回ベンチマークの変更を行うことによって、長期的にはグローバルなインデックスと乖離することになるが、この点についてどのように考えていくのか、整理した方がよい。

- 事務局案のとおりで賛成だが、運用機関を通じて中国国債市場の動向を引き続き学ばれて、将来のパッシブ運用への組入れの可能性を検討頂ければと思う。また、F T S E 世界国債インデックスは発行残高、つまり借入金額が大きい順にウェイトが決定されていると思うが、こういった指数をベンチマークとしてよいのか、今後基本ポートフォリオの見直し時にベンチマークがF T S E 世界国債インデックスでよいかということについても検討頂ければと思う。
- 今回の結論は妥当だと思う。ただ、事務局案の中でも当面投資を見送るとしているが、本来は中国国債の組入れを行うのが標準的である中で、時間軸をどのように考えていくのか。マーケットの状況を見ながらということだと推察しているが、そのあたりを検討頂きたい。

以上